

勝浦市議会だより

みんなのギカイ

2016年 第156号 平成27年12月定例会等の内容をわかりやすくお知らせします

特集記事 対談! 婦人会と市議会



特集記事(対談)	2P・3P
審議結果(トピックス)	4P・5P
委員会活動等	6P・7P
一般質問	8P~11P
きみの未来、あなたの未来	12P
議会のうごき 編集後記	

平成28年2月
勝浦市議会報
編集委員会
0470-73-6662

特集記事

勝浦市婦人会 と 市議会

特集記事第5弾は、勝浦市で活躍する婦人会のみなさんとの対談です。

さて、今回はどのような意見が飛び出すでしょうか？



屋代 充子 会長

市民と議員との距離がある様に感じます。

住み良い街にしていくためにも、距離感を縮めて欲しいです。

【勝浦市婦人会とはどのような組織ですか？】

婦人会は、任意のボランティア団体です。例えば、同じボランティア団体である日本赤十字奉仕団や食生活改善推進員は市長が任命していますが、婦人会は、年齢関係なく、どなたでも自由に参加できる団体です。現在4支部あり、会員数は勝浦支部が100名、興津支部が60名、上野支部が40名、総野支部が26名の226名です。

【具体的にどのような活動をされていますか？】

主な活動内容は、各種イベントの手伝いです。例えば、「ビッグひなまつり」、「勝浦魅力市」等でさまざまな支援を実施しています。

また手芸教室や料理教室を実施したり、フォークダンスのサークルを通じて、施設に訪問に行ったりしています。最年長は、80歳代後半、最年少は、60歳代。皆活発に活動しています。

【活動でたいへんなことは？】

イベント時の人員確保が大変です。会員の中には車を運転しなくなっている方も多くなっているので、イベント会場までの足の確保が難しい時が多々あります。市内交通手段の改善をお願いしたいですね。

また、家庭の主婦として、活動時間を確保する事も大変です。より活動を広げるためにも、もっと若い会員が入ってくれとうれしいです。

【活動していて、やりがいを感じるの
はどんな時ですか?】

やはり皆さんに喜ばれるときです。
間もなく「ビッグひなまつり」が始ま
りますが、来た方が喜ばれる顔を見る
とうれしく思います。イベントでおも
てなしをしますと、お客さんはすごく
喜んで帰られますね。「勝浦は素晴ら
しいですね。」と言われたときは、や
りがいを感じます。

また、各種イベントに参加すると、
新しい友達にめぐり会えて、友人が増
えていくことが、よかったなと思いま
す。

都会にいたときは、こんなに活気のある女性団体の活動というものがな
かったので、女性のパワーのすごさを
感じました。勝浦市に移住して、社交
的になれたと思います。

【勝浦市の将来に期待する事は何です
か?】

若い人が住みやすいように、もっと
住宅、土地の支援を実施して、もっと

活気ある街にして欲しいと思います。

勝浦市の自然は抜群で、沢山の魅力
があるので、もっと勝浦市を知っても
らう機会を増やして、移住、定住者が
どんどん増えればいいなと思います。
空き家、空き地が増えています、
それらを活用する政策も実施して欲し
いですね。

また、もっと女性が活躍できる市に
して欲しいと思います。

【市議会や議員のイメージは?】

婦人学級で議会の傍聴を実施しては
いるのですが、これまでは、議員の皆
さんと直接お会いしてお話する機会
というのがあまり無かったので、身近
な存在とは言えなかつた様に思います。
今回、こうした対談を通じて、お話
する機会を得たのは、何か温かみを
感じて、良いなと思いました。

私は、都市部から移住したのですが、
都市部は人口も多く、誰がどの議員
さんか全くわからないから、選挙など
にもあまり行かなかつたのですが、勝
浦に来てからは、必ず投票に行ってい

ます。それだけ身近に感じています。
また関心を持つようになりました。

【リニューアル後の議会だよりの感想
はいかがですか?】

リニューアル前の議会報は、字数も
多くあまり読んではいなかつたので
すが、以前に比べて、写真が入ってい
りして、読みやすくなつたと思います。
市民の皆さんに議会を知っていただく、
良い機会になつていると思います。

中村 美智子 副会長



土馬 恵子 副会長



岩瀬 さかえ 理事



中林 博子 副会長



平成27年12月定例会 審議結果

勝浦市議会ではこんなことが決まりました！

○12月定例会 会期 12月7日～12月17日 11日間

●審議案件一覧

◎全会一致 ○賛成多数 ×賛成少数

結果	議案番号	件名
可決◎	議案第53号	夷隅郡市広域市町村圏事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について
可決○	議案第54号	勝浦市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の制定について
可決○	議案第55号	勝浦市税条例の一部を改正する条例の制定について
可決◎	議案第56号	勝浦市手数料条例の一部を改正する条例の制定について
可決◎	議案第57号	勝浦市きれいで住みよい環境づくり条例の一部を改正する条例の制定について
可決○	議案第58号	勝浦市国民健康保険税条例及び勝浦市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
可決○	議案第59号	勝浦市農業委員会の委員の定数を定める条例の制定について
可決○	議案第60号	勝浦市農業委員会の農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の制定について
可決◎	議案第61号	勝浦市水道事業条例の一部を改正する条例の制定について
可決○	議案第62号	平成27年度勝浦市一般会計補正予算
可決◎	議案第63号	平成27年度勝浦市国民健康保険特別会計補正予算
可決◎	議案第64号	平成27年度勝浦市後期高齢者医療特別会計補正予算
可決◎	議案第65号	平成27年度勝浦市介護保険特別会計補正予算
可決◎	議案第66号	平成27年度勝浦市水道事業会計補正予算
可決◎	諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

議会報は、議会中審議された全ての議案の中から、市民生活と深く係わる議案をいくつか取り上げて重点的にお伝えしています。

審議された全議案については、勝浦市ホームページをご覧ください。議会事務局までお問い合わせください。

●トピックス その1

水道事業条例が
改正されました。

議案第61号 勝浦市水道事業条例の一部を改正する条例の制定について

給水の停止にかかわる開閉栓手数料を、1件につき現行の2千円から4千円に改正するための条例改正です。

この条例改正は、水道料金の未納者に対する対策強化のための条例改正であります。

この条例は平成28年4月1日から施行されます。



佐野浄水場

●トピックス その2

農業委員会の組織が

大きく変わります！

議案第59号 勝浦市農業委員会の委員の定数を定める条例の制定について

議案第60号 勝浦市農業委員会の農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の制定について

農業委員会法改正は、農地利用の最適化(担い手への集積・集約化、耕作放棄の発生防止・解消、新規参入の促進)をより良く果たせるようにすることを目的に、次の3点を変更しました。

- ① 農業委員会の業務の重点化
 - ・ 農地利用の最適化の推進
- ② 農業委員の選出方法の変更
 - ・ 選挙を廃止し、市議会の同意を要件とする市長の任命制に変更する。定数は9人。
- ③ 農地利用最適化推進委員の新設
 - ・ 農業委員とは別に、農地利用最適化推進委員を新設し、定数を11人とする。



農業体験をする小学生

●トピックス その3

地方創生先行型の地域活性化支援

交付金事業が始まります。

議案第62号 平成27年度勝浦市一般会計補正予算

○地方創生先進地視察委託料 40万円

夷隅郡市の市町が連携して、映画撮影等ロケ誘致活動の先進地視察を実施します。

○勝浦市住民主導型地域づくり支援事業補助金 80万円

「かつらぎ住民参加のまちづくり事業」を実施し、地域に暮らす住民自らが地域の活性化を目的とした地域活動等に対して、地縁団体や自治会等に対して補助する事業。

(今回の事業対象は、鶴原区とZP倶楽部の2団体です)



各常任委員会・特別委員会等の活動報告

総務文教常任委員会

12月定例会での主な質疑応答及び討論

主な質疑応答

Q マイナンバー通知カードの発送の状況は？

A 市の送付世帯数は、9,260通です。12月7日現在の未交付率は、全体の約11%です。

Q 税の申請等で、マイナンバーが誤って記載されていた場合の取扱いは？

A 番号カード若しくは通知カードにより、番号が真正であるか確認のうえ、受理をするので、相違があれば、正しい番号に直していただくことになる。

Q 税の申請等で、番号の記載を拒否した場合の取扱いは？

A 番号法に基づき、地方公共団体情報システム機構に照会をして、番号の提供を受けることになる。

Q どのような職員に番号を照会する資格権限を与えるのか？

A その仕事に携わる職員に限定されるようになる。

Q 生活保護に関する申請の今後の取扱いは？

A 生活保護の権利を侵害するものではないと考えている。今後、国や県から取扱いについての通知がくると思うので、それにより事務を進めたい。



反対討論

マイナンバー制度に関連する議案第54号、第55号及び62号については、マイナンバー制度を少なくとも延期し、見直しを行ったうえで、廃止すべき方向に向かうべきである。



産業厚生常任委員会

常任委員会の行政視察を実施

産業厚生常任委員会では、平成27年10月29日・30日の2日間、行政視察を実施しました。10月29日は群馬県川場村にある様々な道の駅ランキングでもトップクラスにある道の駅「田園プラザ」を訪問し、バイオマスの活用事業及び道の駅「田園プラザ」について、視察研修を行いました。

翌日30日は、同県上野村の道の駅を視察しました。



道の駅「田園プラザ」での視察研修

議会改革検討委員会

検討を進めています

平成27年6月から議会改革検討委員会において、下記テーマについて、順次検討を進めています。

- ・議会基本条例に向けた取り組みについて
- ・傍聴者及び1階ロビーへのモニター映像の提供について
- ・議員定数、議員報酬及び手当について
- ・常任委員会の視察について

山梨県大月市議会が視察

1月28日に山梨県大月市議会 議会運営委員会の委員の皆さんが、「議会改革への取り組みについて」をテーマに行政視察に訪れました。

両市議会の議会改革への取り組みについて、活発な意見交換が行われました。



大月市議会と意見交換

12月10日

鈴木克己議員
藤本 治議員
戸坂健一議員
磯野典正議員

- ①市道の改修及び維持管理等道路基盤の整備について
- ②3校から1校への無理な中学校統廃合について
- ③勝浦市のゴミ処理の今後について
- ④空き家への安全対策と有効な活用について
- ⑤インフルエンザワクチンへの補助額の拡充について
- ⑥地域おこし協力隊について
- ⑦市内中学校再編について
- ⑧地域防災計画について

12月9日

高梨弘人議員
佐藤啓史議員
照川由美子議員
久我恵子議員

- ①子育て支援のひとつと考えられる「ひとり親家庭」への支援と、「病児・病後児保育」について
- ②農業支援策について
- ③2020年東京五輪・パラリンピックについて
- ④子ども園について
- ⑤紙オムツのゴミ無料化について
- ⑥教育環境整備に関わる「学校用務員の配置」について
- ⑦観光振興の課題と鶴原理想郷の整備について
- ⑧「カッピーハッピーデー」(勝浦を楽しむ日)の導入について
- ⑨子育て支援策と支援窓口について
- ⑩勝浦市立中学校の再編計画について
- ⑪認定こども園建設計画について

市政の「ココ」が聞きたい

一般質問



一般質問の記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。全文は、勝浦市議会会議録をご覧ください。また、インターネット録画配信でもご覧いただけます。



高梨 弘人議員
(誠友会)

ひとり親世帯に対する支援について

Q 精神的・経済的負担を少しでも軽減していく事が行政の立場としても必要と考えますが現在ひとり親世帯に対し市独自の支援や取り組みがあるのか、また悩み事などを相談しやすい環境づくりも必要だと考えますが、それについてお聞きします。

A 母子及び父子世帯等の高等学校等の就学費支援事業や小高御代福祉基金事業として児童の入学及び就職時の祝い金支給事業を実施しています。また悩み事などの相談できる環境づくりでありますけれども本年四月より福祉課内に母子・父

子自立支援員を配置しまして取り組んでいます。

病児・病後児保育について

Q 子供が突然の病気になった場合、仕事をしている親御さんにおかれましては大変な負担があると思います。そういった予期せぬ事態に、一時的に子供を預かっていただく事が出来る体制が本市も必要だと考えます。そこで勝浦市における現状と今後の取り組みについて、お聞きします。

A 現在のところ本市におきましては制度として実施してはおりませ



んが今後きめ細やかな子育て支援をより一層進めることが重要と考えますので検討したいと考えております。

農業支援について

Q 後継者不足・有害鳥獣被害・TPP合意に対する不安・コメの価格低迷といった問題を抱える農家さんへの負担軽減が必要と考えますが、それについてお聞きします。

A 今後、道の駅など地域交流拠点施設を整備するなどや圃場整備事業を進める事で農作物の販路拡大による農家収入の向上、ひいては観光による交流人口の拡大、さらには有害鳥獣被害対策や耕作放棄地の発生抑制にもつながるとともに洪水防止や気温上昇の抑制農村の景観や環境の保全等につとめていきます。



佐藤 啓史議員
(新創かつうら)

2020年東京五輪・パラリンピックについて

Q 2020年東京五輪・パラリンピックの事前キャンプ誘致の進展状況についてお聞きする。

A 国際武道大学の柔道場及び陸上競技場を事前キャンプ地として受け入れる意思表明書を提出した。

今後は勝浦市と国際武道大学との連携推進連絡協議会において専門部会を立ち上げ協議を進めていくとともに、外部団体を含めた組織の立ち上げを進めていく。

Q サーフイン種目に対して勝浦市を含む外房一帯での開催に向けた取り組みについてお聞きする。

A 銚子市から館山市までの外房16市町村長連名による「2020年東京オリンピックサーフィン協議会場誘致に係る要望書」を森田千葉県知事に提出した。サーフィンについてはまだ正式種目として決定はしていないが外房地域に誘致できるように取り組んでまいりたい。

A 庁舎検討委員会において比較検討を行った結果、概算事業費では、現計画案12億4千万円に対し、若潮キャンパス案では、8億5千万円と、3億9千万円安くなる。しかしながら将来を見据えて総合的に判断する必要があるため、引き続き慎重に検討したい。

紙オムツのゴミ無料化について

Q 子育て支援の一つでもあり、介護負担軽減の観点から、紙オムツのゴミ無料化について提案する。

A 子育て支援の観点から、平成28年度からの紙オムツの配布に合わせ、ゴミ袋を無償で配布したい。在宅介護の方や寝たきり老人の方についても検討したい。



部原海岸

こども園について

Q 9月議会の決算審査特別委員会において、認定こども園の建設場所については、現計画案に対し、若潮高校キャンパ



照川由美子議員
(無党派)

「学校用務員の配置」について

Q これまで「配置は難しい」との見解でしたが、その後方針が変わりはないか、また県内の状況はどうかを伺います。

A 平成29年4月、全校配置に向けて準備します。現在、県内では本市と袖ヶ浦市が未配置ですが、袖ヶ浦市は学校事務補助員が配置されている状況です。

「観光の振興」と「鶴原理想郷の整備」について

Q 「勝浦魅力市」や「カッピースターセンター」の活動状況と課題について伺います。また、「鶴原理想郷」のトイレ・看板・遊歩道の整備を要望しますが、見解をお聞かせく

ださい。

A 魅力市は特産品を中心に50店の出店、勝浦の魅力を発信、今後は、商店・朝市との連携や、ステージパフォーマンス等の拡充を目指します。ピースターセンターは、26年度ポータルサイト36万の閲覧数があり、約8千人の来客者、鶴原理想郷のトイレ・遊歩道等については、今後整備を進めます。

「カッピースターセンターの導入」について

Q カッピースターセンターとは、市民が地元 の自然や施設を活用し、楽しく遊び、絆を深める市民のための記念日の仮称です。導入できるかどうか、お伺いします。

A 市民の楽しみ の一つとして、



理想郷の初日の出

導入について今後検討します。

「子育て支援策」と「支援窓口」について

Q 子育て支援の充実に向け、市民側に立つて機能する窓口の設置が必要と考えます。また、どんな施策に力を入れて実施していくのか、お考えをお聞きます。

A 子育て支援の窓口については、再編に向け子育て支援部門会議を設置、市民の利便性に配慮し、28年度中に検討します。子育て支援策については、子育て支援員(非常勤1名)や保育士等が行う相談活動の充実を目指します。



久我 恵子議員
(無党派)

勝浦市立中学校の再編計画について

Q 勝浦市内中学校の再編計画案の意見交換会の状況ですが、先日いただきましたところま

だ合意が得られていない学区があるように思いますが、いつごろまでに合意を得られるようにするのか、また、どのようなところで合意を得られたところのかお伺いいたします。

A 最終の方針決定を1月末までにできればと考えております。統合に向けて慎重論もありますが、早く進めてほしいという意見も多数あります。総合的に考えまして、子供たちのことを考え、

教育環境の整備を進めるためには、やはり学校統合を進めていくことが最善の方法ということで教

育委員会も考えております。このようなことを意見交換会の中でご理解いただけるように努力してまいります。



勝浦中学校

認定こども園の建設計画について

Q 認定こども園の建設について、旧若潮キャンパスに仮園舎ではなく、本園舎を建設したほ

うが建設コストとして良いのではないかと考えますが、ご意見をお聞かせください。

A 仮園舎の建設コストについては庁内において、現状に則し再精査した結果、事業費として、8千900万円となります。現在地に新築すると12億4千万円、若潮キャンパスを本園舎に改築すると8億5千万円で、約3億9千万円低廉となります。ですが若潮キャンパス校舎は建設から49年が経過しております。耐久年数という面も含めて現時点で結論に至らず引き続き慎重に検討したい。





鈴木 克己議員
(新創かつうら)

**市道の改修及び維持管理等
道路基盤の整備について**

Q 各区長からの改修要望、小規模損傷などの把握と対応及び年間の処理件数はどのくらいあるか伺う。

A 対応は、規模により予算措置の上で、危険性がある場合は直ちに対応している。損傷個所の把握は、道路ハトロールや住民からの通報による。平成26年度の要望等は、千455件、内894件は解消しました。

Q 勝浦荒川線沿いのソーラー発電所設置計画に伴う市道の新設と接続する市道の道路改良について伺う。

A 清掃センター入口交差点付近から荒川方

向に向かい延長47m幅員11・5mの道路が新設される。残されたトンネル付近の市道は交付金を活用し整備します。

Q 新坂沢倉線は市役所警察署、芸術文化交流センター、日本武道館、研修センターがあるが、市役所周辺以外は、歩道もなく狭隘な箇所が多いため道路改良を早急に行うことが必要であると思うが見通しは。

A 交通量や歩行者の往來が増加し、安全対策が必要な状況です。まずは側溝の蓋かけを行い、歩道の整備を検討します。

Q 市道全体で白線が消えているところが多い。線引きの必要性と対応について伺う。

A これまでも計画的に線引きを実施しています。今後継続してまいります。

Q かけ崩れの発生した箇所などに設置されている木柵の仮設防護壁が経年劣化しており危険である。今後の対応は。

A 状態や法面を点検し適正な対策をとりま

Q 集落道路などは地域住民によって草刈りや側溝清掃などが行われており、掛る経費は地域の自己負担のため費用の一部助成を検討できないか伺う。

A 助成は、考えていない。



市道新坂沢倉線キュステ付近



藤本 治議員
(日本共産党)

3校から1校への無理な中学校統合について

Q 今回初めて小中学校の保護者全員に統合案と過去3回のQ&Aが配布されることになった。そこにアンケートを添えるのは至極合理的だ。なぜやれないんですか。

A 慎重審議の結果、統合の提言をいただいた。これは生徒のために統合するわけで、この推進は我々の使命だと考えている。ですから、アンケートをとることは考えていません。

Q 北中を統合先とする興津中との統合で、2校を存続させることが勝浦の実情にふさわしい。

A 数年後にはクラス替えができない規模に

なる。

Q 統廃合により交通費や制服、体育着、教材などが新調にかかる新たな経済的負担は、市が全額を負担すべきと考え

A 交通費は全額市で負担したい。制服等は、統合時の2年生、3年生は今までの制服、ジャージを使用することも可し、家庭への大きな負担が生じないようにしたい。

勝浦市のごみ処理の今後について

Q 広域ごみ処理施設建設計画の休止により勝浦のごみ処理の今後はどうなるのか。勝浦の炉を10年、15年と使い続けるのか。

A 関係課長レベルで協議をし、今後の方策を検討していく。

空き家への安全対策と有効な活用について

Q 空き家対策特別措置法が施行されたが勝浦でどう具体化しようとしているのか。

A 現在、条例案を準備しており、条例の整備により、行政代執行などの実行のある対策を実現したい。

インフルエンザワクチンへの補助額の拡充

Q 肺炎による死亡をなくすため、補助額を拡充すべき。

A 本年度と同様に千円の助成を行いたい。多くの方に接種いただければ、制度の周知に努めたい。



北中と勝浦中の2校存続を



戸坂 健一議員
(新創かつうら)

地域おこし協力隊について

Q 地域おこし協力隊とは、人口減少の著しい地方において、外部人材を積極的に受け入れ地域協力活動を行って頂き、また彼らの定住促進を図る事で地域活性化を促す制度であり、勝浦市では現在一名の隊員が活動している。

A この制度の活用は、若手人材が不足しているこの地域にあって非常に有用なものであり今後も積極的に活用すべきであると考えますが、現在の隊員の年度末の任期満了に当たり、市として今後どのようなにお考えか。

A 地域おこし協力隊制度は、本市にとっては有用な制度であると認識

している。今後、本市の地方創生施策を具体的に進めていく過程に、協力隊の力をかりる必要があれば、積極的にこの制度を活用したいと考えている。

Q 地域おこし協力隊員の増員について、現在、勝浦市では様々な場面で若手の担い手不足が深刻化しており、協力隊員の各地区への配置や女性の隊員も含増員は必須であると考えているが如何か。

A 地域おこし協力隊制度は、様々な活用方法がある事は認識している。今後、庁内での活用策の研究、制度の周知徹底、また、市内各地区への制度の紹介や、活用事例等の紹介を行っていくなかで、必要があれば前向きに検討していく。

Q 今後、地域おこし協力隊員が地域に溶け込んで、市民の皆さんと共に地域おこしを実施す

るためには、協力隊員が活動しやすい環境を整備すると共に、その活動を盛り上げ、地域の活性化につなげていくことが必要だ。様々な地域活動や地域文化に対する理解など、ソフト面での支援をしていく必要があると思いが如何か。

A 役所が地域とのパイプ役になり協力隊員が活動しやすい環境を整え、能力を十分発揮できるようにような支援策が必要と考えている。



十日町市地域おこし協力隊の活動様子

市内中学校再編について



磯野 典正議員
(新創かつうら)

Q 各中学校において意見交換を開催して見た内容、保護者や住民の皆様からどのような意見が出されたか？

A 多くの方々からは各中学校の状況や今後の生徒数の推移から、中学校の統合は必要であるとの認識を持っている。

北中学区・興津中学区の保護者から、登下校時の交通手段の確保、津波等災害時の安全確保について要望があった。

Q 意見交換での意見集約はどのように図っていく、また方針の決定はどのタイミングで公表するのか？

A 意見集約は、意見交換を行う中で意見を伺うとともに、統合への理解を得たい。また公表は平成28年1月末に方針決定しその後公表したい。

Q 意見集約は、意見交換を行う中で意見を伺うとともに、統合への理解を得たい。また公表は平成28年1月末に方針決定しその後公表したい。



地域防災計画について

Q 過去3年間の防災訓練の内容と参加者数の変化は？

A 平成25年〜平成27年沿岸地区16区で津波避難訓練を行った。また、市役所内では災害対策本部図上訓練や、総野地区では避難所開設訓練なども行ってきた。参加人数は平成25年773人・平成26

年1585人・平成27年1355人。

Q 他の自治体での事例で、事前アンケートでは徒歩で避難という回答が多かったにも関わらず、実際に地震が起きた時は車を使って避難した方が7割であったという事実があった。勝浦市でも車を使った避難訓練を行ってみてはどうか？

A 実際に車を走らせるのは難しいが、それに準じたシミュレーションを今後検討したい。

Q 外国人への災害時の対策についてどのような対応を考えているか？

A 避難場所・避難路標識などに英字を併記し周知を図っている。また、今月から勝浦市観光アプリに避難経路の検索や災害発生情報の配信を、英語・中国語でも対応できるようにしている。

きみの未来、あなたの未来



勝浦中学校2年
井桁 亜望さん
いげた あみ

私の将来の夢は、書道を生かせる仕事に就くことです。

5才の時に習字を習い始めました。上達するための練習には終わりがなく、常に新しい発見ができることはとても楽しいです。また、その楽しさをもっとたくさんの人に知ってもらいたいと思うようになりました。

私はこれからもっと練習をして、字に磨きをかけ、いつか人の心を動かせる立派な字を書けるようになりたいです。



議会のうごきについて報告します
(平成27年11月～平成28年1月まで)

議会のうごき

11月5日	議会報編集委員会 議会改革検討委員会	12月11日	本会議 質疑 議会改革検討委員会
9日	夷隅郡市負担金審議特別委員会(いすみ市)	14日	総務文教常任委員会
10日	全国市議会議長会評議員会(東京都)	15日	産業厚生常任委員会
15日	西東京市民まつり(東京都)	17日	本会議
16・17日	総務文教常任委員会行政視察(福島県喜多方市・いわき市)	平成28年	
20日	議会運営委員会	1月5日	消防団出初式(芸術文化交流センター)
21日	勝浦いすみ青年会議所創立50周年記念スマイルプロジェクト(芸術文化交流センター)	7日	交通安全祈願祭(遠見岬神社)
25日	11月臨時会・全員説明会	10日	成人式(芸術文化交流センター)
27日	夷隅郡市広域市町村圏事務組合議員全員協議会(いすみ市)	15日	千葉県南市議会議長会議員研修会(鴨川市) 議会改革検討委員会
12月2日	議会運営委員会	20日	千葉県市議会議長会役員会(千葉市) 新潟県南魚沼市議会行政視察来庁
7日	本会議	26日	千葉県市議会議長会議長研修会(千葉市)
9日	本会議 一般質問	28日	山梨県大月市議会行政視察来庁
10日	本会議 一般質問	29日	千葉県自治体病院経営都市議会協議会行政視察(船橋市)

編集後記

市民の皆様にも少しでも市議会を身近に感じていただき、市議会がどのような議論や活動をしているのかをいかに伝える事ができるかを考え「みんなのギカイ」の編集に取り組みさせていただきました。皆様に読んでいただけたら、嬉しいです。

議会報編集委員 高梨 弘人

お問い合わせは、勝浦市議会報編集委員会(73-6662)まで

勝浦市ホームページ <http://www.city.katsuura.lg.jp>



QRコード
はここだよ!



勝浦カッピー